

全国道路・街路交通情勢調査

■全国道路・街路交通情勢調査とは？

本調査は、概ね5年ごとに、主要道路の交通量及び道路現況、自動車の利用実態等を調査するもので、本市では、本市域において、
交通量調査（約150区間）・道路状況調査（約234km）・旅行速度調査（約10区間）
を予定しております。

全国道路・街路交通情勢調査の結果から、以下のようなことが分かります。

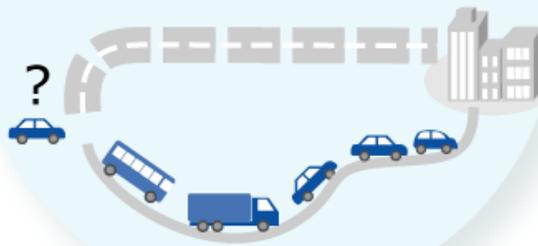
道路はどのように利用されているのかな？

どの地域で、どのような目的で、道路をどの程度利用しているのかが分かります。



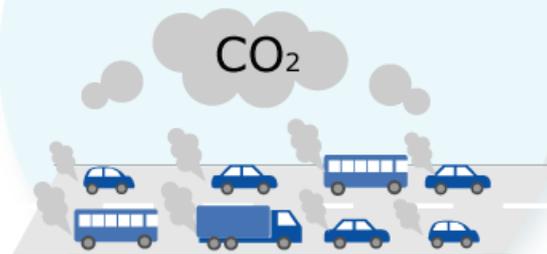
道路の整備効果はどれくらい？

新たな道路や施設を整備した場合の効果把握することができます。
新しい道路をつくるべきかどうかを決めるために役立っています。



私たちの車利用で、どれくらいのCO₂が発生しているんだろう？

自動車の走行台数×1台あたりのCO₂排出量から、
温室効果ガスの排出量が分かります。



これらを基に将来の道路計画、総合都市交通計画等の交通施策やまちづくり施策の検討を行うための基礎資料を得ます。

■調査内容

交通量調査：車種別、時間帯別、方向別など
道路状況調査：信号時間、交差点の数、
車道の幅員など
旅行速度調査：調査区間の通過所要時間など

■事業実施スケジュール(予定)

年度	平成27年度	平成28年度～
内容	現場調査	調査結果を基に 各種データの分析業務